生した際に検査機関へ運ぶ。クラスター検査機関への搬送が多数いる。ほか物資の運搬など

KIKUKAWA PAPER 吉川紙店
広島市西区商工センター6-7-7
電話:(082)277-5811

疑いがある場合は同乗できる。搬送先の検査・医療機関における車内のPCR検査にも対応する。

同市健康推進課によると、直近一カ月間の市内のPCR検査件数は約130件。疑い患者などの搬送については県西部保健所が担っている。同保健所には6月に同様の車両を配備。県西部厚生環境事務所の小池英樹所長によると、少なくとも週に1度の頻度で稼働しているという。要請が重複した場合は、パーティションなどを施した公用車で搬送することもあるという。

松本太郎市長は「これから寒くなり感染拡大期に入ると思われるため、保健所の負担軽減を図りたい」と話している。

ごみ袋など寄贈 小中学校を支援

廿日市市公衛協

【廿日市市】廿日市市公衆衛生推進協議会が6日、廿日市地域の市立小・中学校計16校にトイレットペーパー6480個と同市指定の45ℓゴミ袋3810枚を寄贈した。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い学校教育の支援を目的とした取り組み。今津俊昭会長や山田浩之事務局長らが、各校を回り目録を贈った。

同協会は、「健康」と「環境」をテーマに、地域の清掃活動や市民のウオーキングイベント、エコ関連の催しなどに例年開催している。今年は新型コロナの影響でイベントができない中、「コロナ禍で何か役立てないか」と思案。児童生徒や教職員など、休校や手洗い・消毒の励行などの学校の生活様式が変わったことで増える精神的な負担軽減を図ろうと、寄付を実施した。

廿日市小学校には、今津会長が訪れた。寄贈の思いや学習に集中できることを願う旨を伝え、北川千幸校長に目録を手渡した。

北川校長は「子どもたちが毎日使うものの寄贈はとてもありがたい。大切に使うよう伝えたい」と感謝していた。

同協会によると、新型コロナ禍に入りペットの散歩が増え、犬のフンの苦情が増えたという。山田事務局長はフンの持ち帰りを周知する活動を予定しているそうで「市民がより良い環境で生活できるよう、今後も活動内容を考えていきたい」と話している。

廿日市小では今津俊昭会長(右)が訪れ、北川千幸校長に目録を手渡した

地震想定し訓練 情報伝達を確認

商工センターで

【西区】広島市西区の広島商工センター地域経済サミットが4日、防災訓練を実施した。大地震発生を想定し、広島西署・区役所・同市西消防署が協力して団体・企業、町内会との情報伝達や避難訓練を行った。

西部埋立第6公園には、会社や近隣のもみのき保育園児ら約175人が避難した。救助訓練では、同消防署が屋上に取り残された人をはしご車で救助。さらにはしごを伸ばし高さ約30mから放水も披露した。つるはしやロープ、ハンマーなど救助資機材を確認。万が一の時に使えるよう実際にのこぎりで木材を切ったりリッパーでチェーンを切断した。

講評で、同サミット会長・卸センター理事長で対策本部の伊藤学人本部長は「災害が起きたときには訓練を活かし皆で助け合いながら生活できれば」。広島西署の濱田紀之署長は今年7月に井口台で起きた土石流を踏まえ、「危険箇所を知ってほしい」。同消防署の木原伸二署長は「地域力のたくましさ、連帯感の強さを感じた。訓練を通して安全に対する心構えを再確認してほしい」と、それぞれ参加者に呼び掛けた。

はしご車を使い屋上に取り残された人の救助訓練にも取り組んだ

タイムスの「箱庭」
☆★☆ステージアクション☆★☆
～みんなの発表会～
皆様の日々の練習成果を
クレドホールで発表しませんか?
<<<出演者大募集!!>>>
日時…R3年1/24(日)11時～18時
場所…NTTクレドホール(中区基町6-78)
締切…11/30(月)17時まで
みんなの発表会実行委員会
お問合せ 090-3172-2781木原

)日まで募集中

化協会

れず、未加工に限る。

応募の中から、市長賞1点に賞金5万円、議長賞1点に4万円、教育長賞1点に3万円。協会賞1点に2万円、入選5点に1万円を贈る。そのほか、佳作と

ナ関連業務に

る。

者の搬送は、した市職員2対応する。患は基本1人ず族や同居人も

害防止

感謝状

に感謝状

んにそれぞれ感謝状を贈呈した。新出能裕署長が2人に賞状を手渡し、「薬物乱用防止の啓発に力を注いでいきたい」と話した。

た番号に電話すると、「利用料を支払わないと裁判費用込みで約1

長が電話相手に「警察が連絡する」と言うと電話は切られたという。